

# 2025 市民活動大集い

横須賀で活躍する  
市民活動団体が

## 大集合!

参加する団体

# 90

団体  
以上



汐入駅から徒歩1分

横須賀市立

**会場** 市民活動サポートセンター

2月8日(土) 午前 午後  
2月9日(日) 10時から13時



# 市民活動大集い

# 新春

(((すかつこの市民活動情報)))

掘り出し物いっぱい フリーマーケット

きっと見つかる 気になる活動！

食べ物もいろいろ！

ラーメン 芋煮 うどん ホットドック ふろふき大根 焼きそば・・・

check!!

のたろん キョイス！

のたろんフェア 2025 に参加する

この団体に注目♪



チームやどかり 2/8<sup>±</sup>

高齢者の身の回りの困りごとを支援しています。掃除、ごみ処分、片付け、草取りなど。家の片付けに関する相談、また、家の片付けに関する勉強会、啓蒙も。ご本人とその家族や近隣の方が住みよい環境を作るお手伝いです。

津久井の自然を守る会 2/9<sup>日</sup> <sup>映る</sup>映像

ホテル自生地保全のために、田んぼづくりや草刈りを行っています。ハイキングコースの不法投棄のパトロールも活動のひとつ！豊かな自然が残されている身近な地域の再発見♪

デコボコドリームズ 2/9<sup>日</sup>

横須賀市でも防災の知識を広めたい！！  
『防災紙芝居』を作りました！ 防災の知識や救急法を子どもにもわかりやすく、楽しく伝えます。

ほのぼのサロン 2/9<sup>日</sup> <sup>募る</sup>募金

「暮らしを楽しむ折り紙」「暮らしを楽しむアート展」などを開催。イベントの企画・運営から学習会やワークショップなど、子育てしやすい環境作りを目指した子育て支援。みんなが笑顔になる社会を目指して活動しています。

手作りオモチャの会 2/9<sup>日</sup> <sup>体験</sup>体験

身近な部材を用いたオモチャ作りと遊びの指導等。昔遊びの伝承と普及をしています。子ども会や小学校の授業の他、小学校PTA行事、企業のイベント、国際交流事業への参加活動もしています。

Hanto Innovation Lab 2/8<sup>±</sup>

三浦半島（四市一町）の地域活性化についての方策を研究する会です。地域活性化についての研究活動、三浦半島内で活動しているNPO 団体等との共同活動を行っています。

在宅傾聴ボランティア  
ビーイング久里浜 2/8<sup>±</sup>


在宅高齢者が増加する社会背景にあって、地域での共助が求められています。個人宅を訪問し、時間を共にすることで、少しでも安心した生活ができるよう、在宅高齢者の気持ちを大切にお話し相手をしています。

特定非営利活動法人  
国連 UNHCR 協会 2/8<sup>±</sup> <sup>募る</sup>募金

「まず、命を救う」紛争や迫害で家を失った人々の安全を守るため、難民支援にご協力ください。国連の難民支援機関、UNHCR（国連難民高等弁務官）の活動を支える日本の公式支援窓口。



参加団体はブースによって、のたろんフェアの開催日 2/8（土）か 2/9（日）のどちらかのみ参加という場合があります。詳細は市民活動サポートセンターのホームページ「のたろんweb」でも公開していますので、ご覧ください。

のたろん web の    
「のたろんフェア 2025」のページ





～市民活動を支える人たち～

## 横須賀建築探偵団

代表 富澤 喜美枝さん

横須賀の中里（現・上町）生まれ、聖心幼稚園（現・めぐみ幼稚園）から豊島小、不入斗中、大津高校とずっと地元で暮らしてきた横須賀建築探偵団の富澤さんにお話を伺った。

自分の子どもも豊島小へ入学し、PTA活動に参加、広報の担当になったとき、地元の歴史を連載している「としま界限」という欄で地元のあれこれを記事にしたことがきっかけで、親しいメンバーと「三浦郡豊島町をもっとよく知る会」を昭和56年（1981）に立ち上げた。毎月活動の成果を「みち」と名付けた通信で発表、「みち」が100号になったとき今までの通信をまとめて「横須賀の地域史みち 豊島町 明治から昭和の記録」として出版。会は現在も続いており、2017年には、戦中戦後の暮らしの様子を聞き取りと寄稿でまとめ「伝えたい 戦中戦後を生きた51人の記録」を発行した。また、地域文化を伝える証として、中里神社に大正11年に奉納され、文字も読みづらくなった俳額の説明板を、総代の許可を得て拝殿前に置かせていただいた。明治のころは深田、中里、佐野、不入斗、公郷は豊島町という行政区域であったが、明治39年横須賀町と合併、翌年横須賀市が誕生した。今では豊島の名は小学校と町内会に残るのみとなった。

横須賀建築探偵団をつくるきっかけは、横須賀市民文化財団（現・生涯学習財団）の情報誌「はまゆう」の編集を担当していた時「横須賀建築散歩」を企画、船津眼科医院や文化興業、上町教会をとりあげたがその後「は

まゆう」が廃刊となった。ちなみに前者2軒は今では取り壊され、駐車場に。上町教会は市内民間で初めての国登録有形文化財として今も大切に使われている。探偵団では市内だけではなく呉・佐世保などの軍港都市や近県にも見学に行き、記録したものを「建物で読む横須賀」として2008年に出版した。そのほか愛川町半原から横須賀市逸見までの半原系統水道みちを3年かけて踏査、記録し調査報告書を出版、報告会も行った。現在はホームページを毎月1日と15日に更新し、ニュースはその都度掲載している。



津久井に茅葺民家市立万代会館があり市指定重要文化財となっているが耐震に問題ありとして現在立ち入りはできない。戦中戦後、銀行界・経済界・青山学院理事長などで活躍した万代順四郎氏終の棲家で、夫人没後に遺族から寄贈された建物である。一日も早く保存活用が進められることを願い、皆さんに忘れられないよう文化祭などを行っている。

「まちの記憶というのは、次のまちをつくるために必要なもの。自分が住んでいる町が、どういう歴史のみちすじをたどっていまに至るのかを知るのは、興味深いことではないでしょうか」と話してくれた。また、郷土資料館は横須賀にあってほしいとも。横須賀のまちを、人と建築の視点で見つめ、まちの過去—現在—未来の懸け橋として、まだまだ活躍してください。

### 団体紹介

## 横須賀建築探偵団

### 建物から地域の歴史を学びます！

調査、見学、町歩きなどのイベントを開催しています。書籍を発行したり、歴史的な建物を形に残す活動は、会のwebページでも。300以上の建物の解説の寄稿は、読み応えあり！現在も増加中です。

〈インタビューのときに富澤さんにご紹介いただいた書籍〉

『建物で読む横須賀』（2008.3）発行：横須賀建築探偵団

『伝えたい 戦中戦後を生きた51人の記録』（2017.2）

『みち「豊島町」明治から昭和の記録』（1996.5）

発行：三浦郡豊島町をもっとよく知る会

『横須賀軍港水道 半原系統水道みち—関連遺構分布図』


発行：横須賀建築探偵団


ホームページおすすめです！ 必見！





横須賀建築探偵団 で、検索





- 


ぬまちゃんはサポセンにお泊りすることあるのー？
- 


それじゃあ、困っていたお母さんたちがたくさんサポセンに来たの〜？
- 


えっ、泊ったことは無いけど…。突然どうしたの？
- 


設置したばかりの頃は、結構利用するお母さんがいたんだけど、最近はかなり少なくなってきてるかな。2020年にコースカベイサイドストアーズが出来て、そこにすごく立派な、カラフルで楽しい授乳スペースができた影響かなと思ってのんだ。
- 


キッズコーナーのところにテントがあるから、こっそりキャンプしてるのかなって。前からあったっけ？
- 


えっ、楽しそうなのは興味があるう。でもサポセンの授乳室を使う人が減ってしまったのは寂しいね。
- 

あれは授乳室なの。結構前からあるんだよ気が付かなかった？ えっと…設置したのが2018年の秋だから、もう6年も経ったんだねえ。
- 

そうね…。でも多くの施設に授乳室が設置されるようになったのは良いことだと思うから、この小さな授乳室も役割を終えたなら汐入駅周辺のバリアフリーが進んだってことかな。
- 

そうなんだあ、サポセンができた最初からあるわけじゃないんだね。でもなんで途中でテントの授乳室を置くことになったの？
- 

う〜ん。イオンやコースカと絡み合った壮大な歴史のあるテントだったんだねえ。
- 

そのころ、イオンにあった授乳スペースが無くなってしまって、近くにどこか授乳スペースがありませんかって問い合わせがサポセンにいっぱい来たの。それでサポセンに授乳スペースを作ろう！ってことになったんだよ。
- 

ふふっ、ありがとう。なんだか私もすごいテントに見えてきたよ。

共楽荘に行ってみよう

甘党錦鯉

第24回

案内していただいた応接室。席についてほっと一息ついてみると部屋の外から「ザー…」という水の音が聞こえる…

「もしかして…」と思い、そ〜っと障子を開けてみると、窓の向こうには…

池！

そして鯉！（やっほい！）

ということで、相も変わらず水の音にだけは敏感な甘党です。今回は横須賀市内にある老人ホーム「共楽荘」に来ております。

それにしても…なんとということでしょう、建物は歴史を感じさせる西洋風の佇まい。エントランスは広々とした開放的な空間。匠のこだわりが垣間見えます。実は共楽荘は昭和20年代に旧海軍工廠工員宿舎を改造したのが始まりとのこと。「横須賀ならでは」、ですね。

そんな中、事業を始めるにあたって前代表が「老人ホームらしくないものを」という思いから中庭に池を作ったのだとか。甘党的には何といても「滝」が一押しポイントです。なんと、レンガ造りなんです。今まで見てきた滝は石造りで松があつて…というのがほとんどでしたが、レンガ造りで洋風の滝は初めて見たかも。かなりカッコいいですねえ。中庭には「あずまや」もあつて、ほかほか陽気のときにはのんびり過ごせそうです。なかなか外出できない高齢者の方々にとっては中庭にある池の水の音は癒しになるんじゃないかなあ。

池のルーツについてお話を伺いながら、「冬場は1回で十分らしいんですけど…」と、餌やりの風景も見せていただきました。池の中を悠々と泳いでいた錦鯉たちがこれまた悠々とご飯を食べにきます。それもそのはず、25年くらい前からこの池にいる子もいるとのこと。さすがの貴録。それにしてもこの景色…甘党的には役得ですぞ、職員の皆さん。

まだまだ魅力が隠されていそうな「共楽荘 中庭の池」、次回訪問するときにはどんな顔を見せてくれるかな。

(小串滋彦)



サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

サポートセンターのホームページ「のたろん Web」は「のたろん」で検索

情報誌「のたろん」新春号（通巻101号）2025年1月1日  
 発行 横須賀市市民活動サポートセンター  
 編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
 横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩1分）  
 TEL 046-828-3130  
 FAX 046-828-3132  
 市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。



編集ボランティア/はこざき・おぐし  
 スタッフ/ぬまさき・のぎむら・みずたに

サポセンtopics トピックス

**おもちゃもあります♪ キッズコーナー**

授乳コーナーがあるキッズコーナーはサポセンのフリースペース！受付しないで、すぐに使えます。

- ベビーベッド
- ビデオとテレビ
- 積み木などの木製おもちゃ

※キッズコーナーは靴を脱いで利用します。

日当たりのよいキッズコーナーは日中は気持ちよく、人気があります。うとうと昼寝がしたくなっちゃいますね！

日当たりのよいキッズコーナーにある授乳スペース

